

※この資料は、平成24年3月9日の報道発表により変更となっております。 **資料1**

住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数のポイント (平成23年3月31日現在)

総務省自治行政局住民制度課

○東日本大震災により報告できない市町村が、22市町村

岩手県	宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、野田村
宮城県	石巻市、気仙沼市、多賀城市、山元町、女川町、南三陸町
福島県	南相馬市、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村

・この22市町村に係る人口・世帯数・人口動態等は集計に含まない。

○全国の人口は、1億2,623万625人

○全国の人口は、昨年に引き続き減少

- ・調査開始（昭和43年～）以来、平成18年に初めて減少し、平成20年、21年と増加したが、平成22年、23年と続けて減少
- ・1億2,705万7,860人（平成22年） → 1億2,623万625人（平成23年）
対前年82万7,235人減（前年の数値から東日本大震災により報告できない22市町村に係る数値を除いた場合は、12万2,679人減）
- ・出生者数が3年連続で減少し（106万5,909人）、死亡者数は調査開始以来最高となった（121万2,094人）。
- ・転入者数（513万2,552人）及び転出者数（513万2,427人）は、それぞれ調査開始以来（昭和43年～）最低となった。

○人口増加数は東京都、人口増加率は沖縄県がトップ

- ・東京都の人口増加数：5万2,549人
- ・沖縄県の人口増加率：0.53%

○市部（特別区を含む。）の人口割合が、全国の人口の9割超

- ・市部：1億1,436万8,159人（90.6%） 町村部：1,186万2,466人（9.4%）

○三大都市圏（東京圏、名古屋圏及び関西圏）の人口が、過去最高を記録

- ・昨年（50.51%）に引き続き、全国人口の半数を上回る（50.91%）

○全人口に占める年少及び生産年齢人口の割合は調査開始（平成6年～）以来毎年減少し、老年人口の割合は毎年増加

- ・年少人口（0歳～14歳）：13.35%（調査開始（平成6年）以来毎年減少）
- ・生産年齢人口（15歳～64歳）：63.82%（調査開始（平成6年）以来毎年減少）
- ・老年人口（65歳～）：22.83%（調査開始（平成6年）以来毎年増加）

○世帯数は、調査開始（昭和43年～）以来毎年増加

- ・5,336万2,801世帯 → 5,354万9,522世帯（対前年18万6,721世帯増）

○1世帯の平均構成人員は、調査開始以来（昭和43年～）毎年減少

- ・2.38人／世帯 → 2.36人／世帯（対前年0.02人／世帯減）